

# 認知症の人に寄り添う プロの 介護セミナー

この研修は“認知症ケア”の基本を整理し、現場での間違ったケアをわかりやすく指摘できるようになります。認知症の方の思わぬ行動に具体的に  
対応できる介護技術を身につけることができます。また、職員が認知症の  
方を虐待してしまう構図を理解し、虐待の予防・対策を学びます。

講師  
元気がでる介護研究所 代表 **高口 光子氏**

受講形式  
集合研修

本研修の内容は、運営基準の趣旨及び内容に沿っており、  
本研修の受講者が講師となって施設内で運営基準に実施を定められた研修を行うことが可能となります。

内  
容

## ●認知症ケアの基本的考え方を整理する

- ・なぜ、そのケアが良いケアなのか、  
悪いケアなのかを新人に説明できる
- ・活動性の高いケースのケア
- ・重度で反応がわかりにくいケースのケア

## ●行動・心理症状(「問題」行動)と 「問題」のあるケア

- ・なぜ、そのような行動を取るのか考える

## ●チームで取り組む認知症ケアと実践報告

今回は、認知症ケア専門士の単位認定研修となります(3単位) 234839

日程 令和6年

7/28 日

13:30~17:00  
(受付開始12:10~)

会場 **富山県民会館 401号室**

富山市新総曲輪4-18

定員 **100名**(申込み順)

受講料 **2,000円**(当日会場にて)

対象 社会福祉施設または介護保険事業所等に勤務する方

申込方法 うら面の参加申込書に必要事項をご記入の上、「NPO法人おらとこ」まで、FAXまたはメールにてお申込み下さい。

申込締切 一次締切▷6月30日(日) 最終締切▷7月20日(土)

主催 / 特定非営利活動法人おらとこ  
後援 / 一般社団法人日本認知症ケア学会

問い合わせ先(担当:野入) **TEL:076-483-9550**



## 講師プロフィール

理学療法士・介護支援専門員・介護福祉士  
現：介護アドバイザー  
元気がでる介護研究所 代表

## 高口 光子氏

高知医療学院を卒業後、理学療法士として福岡の病院に勤務するも、老人医療の現実と矛盾を知る。より生活に密着した介護を求め、特養ホームに介護職として勤務。

介護部長、デイサービスセンター長、在宅部長を歴任した後、2002年4月に静岡の医療法人財団百葉の会、法人事務局企画教育推進室室長に就任。併せて生活リハビリ推進室室長を兼務する傍ら介護アドバイザーとして全国を飛び回る毎日を送った。

2006年に老健「鶴舞乃城」の立ち上げに携わり、翌年4月に看介護部長となる。2012年5月には新規の老健「星のしずく」の立ち上げに携わり看介護部長を兼任する。現場を守りながら若い運営スタッフやリーダー育成に取り組む一方で、講演、執筆活動、Facebook、NHKに出演し、現場からの等身大の発言・提案で現場を変革させようと精力的に日々を送った。

これまでの現場からの学びの集大成として、「介護現場で死ぬということ（講談社）」を、また、現場を知らない人々も関係者の方々にも「今の介護現場」を知ってもらいたいという思いから、『介護の「毒（ドク）」はコドク（孤独）です（日総研）』を刊行した。その後「認知症の人の心に届く声のかけ方・接し方（中央法規）」「おひとり様の老後が危ない！（集英社）」を刊行。

2022年4月「元気がでる介護研究所」を設立し代表となる。より自由な立場で「介護現場を良くしたい」の一念にて、現場改善、人材育成などの研修・講演活動、介護相談・コンサルティングを継続している。

## 高口光子さん介護セミナー参加申込書

下記の必要事項をご記入の上、「NPO法人おらとこ」のFAXまたはメールにてお申込みください。

氏名	フリガナ .....	住所	—
所属 勤務先		連絡先	TEL — —
単位	認知症ケア専門士の単位認定研修 (3単位) <small>いずれかに ○をつけてください。</small> ▶ <b>必要 / 不要</b>		
ご意見 ご要望			

特定非営利活動法人おらとこ 〒930-1312富山県富山市上滝88-7 申込み先 (担当:野入)



076-483-9551



info@oratoko.com